

分会情報

J R 東海労大阪仕業検査車両所分会

No.19 2010.9.26

発行責任者 柿本 克彦

編集責任者 教 宣 部

近畿運輸局に要請行動！！

安全軽視の会社姿勢に問題あり！！



9月24日、大阪仕業車両所分会は本部と共にJR東海会社の安全軽視に対する問題について近畿運輸局に要請を行いました。

これまでも明らかにしてきたように現場では8月25日に起きたB11編成のパンタグラフ動作不良の問題をことさら社員に責任転嫁しつつ対策として再教育を行っています。

しかし大きな問題なのは、新横浜駅で異常を認め列車防護スイッチを扱い、さらに小田原駅でも確認したにも関わらず岡山駅まで営業運転を行った事こそ問題があるわけです。

会社は1月29日のパンタグラフ落失事故が起きたときは、パンタグラフには異常はなかったと言いながら重大な事故を起こしています。このことから考えても今回パンタグラフに異常を確認したいじょう列車を止めるべきではなかったでしょうか！事故が起きてからでは遅いわけです。

わたしたちは安全を確保し最優先することこそ鉄道会社の使命と考えます。